



# ふれあいひろば

新潟市民病院  
広報委員会

[患者とともにある全人的医療]

## 新型コロナウイルス感染症による認知症介護の変化



脳神経内科 野崎 洋明

### 1. はじめに

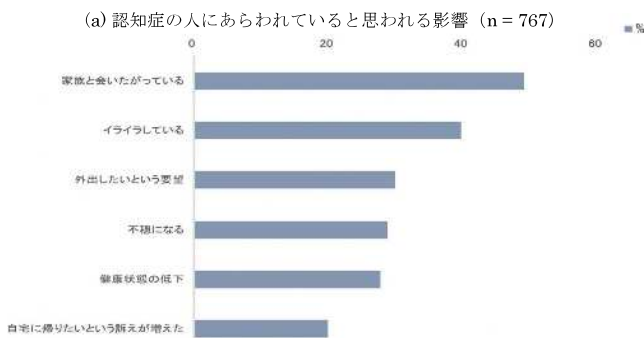
新型コロナウイルス感染の拡大は我々の生活を大きく変化させ、その影響は認知症介護にも及びました。ワクチン接種率の上昇に伴って漸く感染拡大は収束に向かいつつありますが、今後も新型コロナウイルス感染が認知症介護に影響を与え続けることは疑う余地がないでしょう。

いわゆるウィズコロナの時代において認知症介護はどうあるべきなのでしょう。難しい問いかけですが、これまでに起こった新型コロナウイルス感染症による認知症介護の変化を知ることが解決の糸口になるかもしれません。ここでは認知症介護研究・研修センターで実施されたアンケートの結果を紹介し、認知症介護におこった変化について考えます。

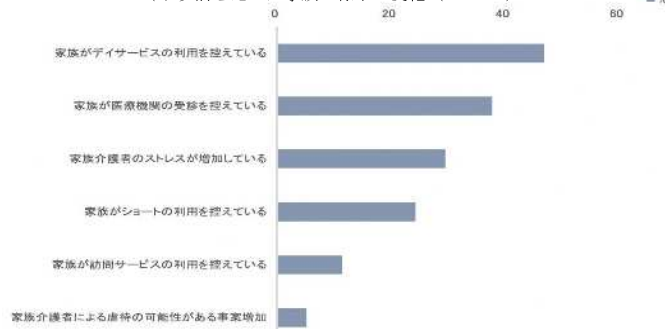
### 2. 認知症患者と家族への影響

2020年に認知症介護研究・研修センターで実施されたアンケートの集計結果を示します(図1)。まず、認知症患者本人への影響については、不安や苛立ちといった感情面の変化が多く、それに伴う本人の苦痛と介護困難が懸念されます。家族への影響については、感染への漠然とした恐れから十分な介護サービスが利用できず、介護負担が増加していることが窺えます。

図1. 新型コロナウイルス感染症の流行が認知症患者とその家族に与えた影響



(b) 以前と比べた家族の様子の変化 (n = 767)



認知症介護研究・研修センター「認知症介護指導者を対象とした新型コロナウイルス感染症対策にかかわる緊急アンケート」の結果<https://dnet.gr.jp/info/covid-19/info03.php>を用いて作成した。

### 3. 認知症に関する地域活動への影響

新型コロナウイルス感染は認知症に関する地域活動にも大きな影響を与えています。患者や家族がアクセスしやすい認知症カフェは96%が休止中、地域での支援に重要な役割を果たす認知症サポーターの養成講座も99%が休止中でした(アンケート実施時のデータ)。

### 4. まとめ

新型コロナウイルス感染の拡大は介護サービス利用の躊躇や地域活動の休止を招き、認知症介護を困難にしています。認知症患者と家族はお互いに影響を与えあう存在であるため、家族への介護負担の増加が認知症患者の不安を増強し、患者の不安増強がさらに家族の介護負担を増やすといった悪循環に陥ります。

現在、ウィズコロナの生活は次の段階に進みつつあり、飲食店、ライブハウスなどで感染対策の実証実験が始まっています。今後は認知症に関する介護サービスや地域活動においても実証実験が行われ、明確なデータを根拠にした安心できる認知症介護が行えるようになることを願ってやみません。

# 下肢静脈瘤「切らない」手術の最新版

心臓血管外科 科部長 青木賢治

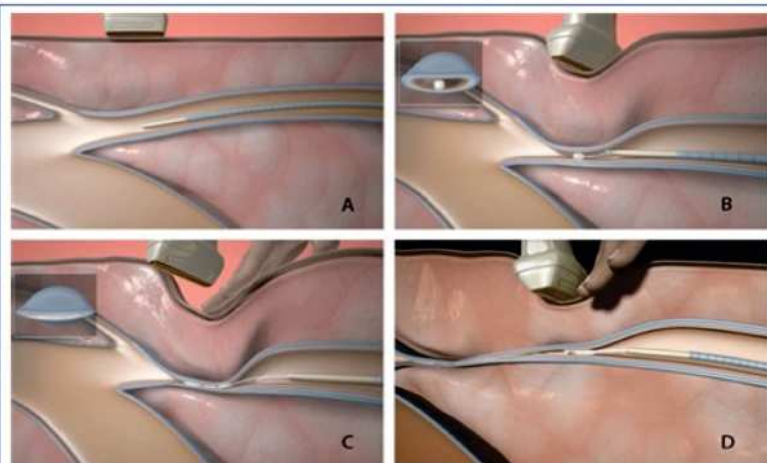
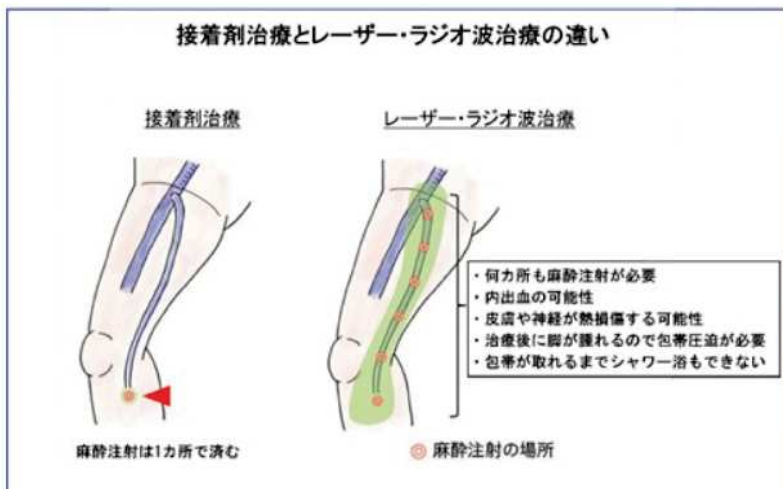
下肢静脈瘤は中年以降の女性に多い血管病で、浮き出た血管が目立つようになるばかりか、下肢のだるさ、むくみといった症状がひどくなります。ときに静脈内に血栓ができて激しく痛むことがありますし、皮膚の症状（痒み、シミ、潰瘍など）で大変悩まされることもあります。根本的な治療は手術しかありません。以前は全身麻酔または下半身麻酔下に何カ所も皮膚を切開する手術しかなく、手間がかかるうえ、患者さんにとっては苦痛を伴う治療でした。しかし近年は皮膚を切らない手術が主流となり、患者さんの苦痛は随分軽減されました。

皮膚を切らない手術では、レーザー、ラジオ波といった熱源を内蔵したカテーテルを血管内に挿入し、血管を内側から焼灼（＝高熱で焼き固められた状態）にします。焼灼された血管は閉塞し、血液が流れない状態となることで治療効果が得られます。この方法は全身麻酔を必要とせず、短時間で治療が完了します。入院も必須ではありません。当院では2018年よりこの方法を採用し、ほとんどの方が入院なしでの手術（日帰り手術）を受けています。しかし血管を焼灼する場合、何カ所も針を刺して血管の周囲に麻酔薬入りの水を注入する必要がありました。というのも熱が血管の外に伝わると痛みを感じるうえ、近接する神経や皮膚を損傷してしまうことがあるのです。それを避けるために血管の周囲に麻酔薬入りの水でバリアを作ります。これにより痛みを感じず、熱が周囲に伝わらないようになりますのですが、何カ所も針を刺されることは苦痛なうえ、内出血の原因になることがありました。また手術後は水を注入されて腫れた脚を包帯で圧迫する必要がありました。しかし最新の治療ではこれらの問題をすべて解決しています。

最新の治療では特殊な接着剤を使います。カテーテルを使う点では以前の方法と同じですが、水に反応して固まる接着剤を血管内に注入して血管を外から圧迫します。圧迫されて潰れた血管は

そのまま固まってしまい、熱源を使用した治療と同じ効果が得られます。この方法だと熱源を使用しないので、痛みはありませんし、周囲の神経や皮膚を損傷する危険もありません。何度も針を刺して水のバリアを作る必要もありませんので、内出血もなく、脚が腫れることもありません。治療後は包帯による圧迫処置もなく、帰宅後すぐにシャワー浴も可能です。

接着剤治療とレーザー・ラジオ波治療の違い



接着剤治療のイメージ

- A: カテーテルを血管に挿入します。  
 B: 接着剤を注入し、血管を上から押しつぶします。  
 C: 接着剤を注入された血管はつぶれたまま閉塞します。  
 D: 接着剤を追加し、血管全体を閉塞させます。

県内には下肢静脈瘤手術を実施している血管外科施設が複数ありますが、その中でも当院ではいち早くこの接着剤治療を導入しました。下肢静脈瘤で困っているがどうしたらよいかわからない、手術は不安という方もいらっしゃると思いますが、まずはかかりつけ医院にご相談のうえ、当院心臓血管外科を受診してみてください。はいかがでしょうか？

# 呼吸リハビリテーションについて

リハビリテーション技術科 酒井妙子

○呼吸器疾患に対するリハビリテーションとは？

「呼吸のリハビリって何をやるんですか？」とよく聞かれます。リハビリと聞くと歩行や筋トレをイメージする方が多いですが、実際にはどのようなことをするのか紹介します。

呼吸リハビリテーションは、呼吸困難感の軽減やどのくらい運動ができるかといった身体のことだけではなく、生活の質の改善を目的に行います。

○呼吸リハビリテーションの対象となる方

- ・慢性閉塞性肺疾患（COPD）、肺炎、神経や筋肉の病気による呼吸機能の低下がある方
- ・人工呼吸器で呼吸管理を行っている方
- ・手術後で痰を出しにくい状態の方

○呼吸リハビリテーションの内容

呼吸リハビリテーションでは、①コンディショニング、②全身持久力トレーニング、③筋力トレーニング、④日常生活動作の方法の見直しを行います。

①コンディショニング

コンディショニングとは、呼吸の仕方、深呼吸の練習、呼吸筋のストレッチやトレーニングなど、“呼吸そのもの”のトレーニングです。痰を出しやすくなるように排痰の練習も行います。

②全身持久力トレーニング

全身持久力トレーニングには、平地歩行、階段昇降、踏み台昇降、自転車駆動などがありますが、歩行が一番親しみやすい運動です。

③筋力トレーニング

筋力トレーニングは、体重をかける、重りを使うなどして、手足や体幹の筋力強化を行います。筋力トレーニングは一見地味ですが、効果があるトレーニングの1つです。

※①～③のトレーニングで肺活量を中心とした呼吸機能を示す指標（肺活量、%肺活量、呼気肺活量など）が有意に改善するという報告が多くあります。

④日常生活動作の方法の見直し

日常生活動作（ADL）に即した運動療法と実際のADLの方法を見直し、日常生活での呼吸困難感の軽減や遂行能力の改善が大きな目標です。資料にあるような「息苦しくなりやすい動作」を避け、動作方法の工夫をしながら、息切れを軽減する方法を患者さんとともに検討します。



資料：独立行政法人環境再生保全機構

呼吸リハビリテーションマニュアル 「息苦しくなりやすい動作」より

呼吸リハビリテーションは生涯にわたり継続して実施すべきとされています。上記4つのトレーニングはその疾患・病期により、その内容や優先度は変わるので、その時々合ったトレーニングを選択することが大切です。リハビリテーションについては、それぞれの病状により内容が異なりますので、主治医にご相談下さい。



# 季節の食材

## 「かぶ」

## 栄養管理科

かぶは通年出荷されています。春の七草である「すずな」としても知られていますが、10～12月頃の寒い時期はもっともたくさん出回り、味もおいしいとされています。原産地はアフガニスタン系のものと地中海沿岸のヨーロッパ系に分かれます。日本では金町小かぶ、聖護院かぶ、天王寺かぶなど約80種が生産されています。

**栄養** かぶは胃腸を温めてくれるので冷えからくる腹痛を抑えたり解毒作用があるためジュースにして飲むと吹き出物や腫れ物に効果があるとされています。また根と葉では含まれる栄養も異なります。

①根 → 単色野菜。ビタミンCや消化酵素のジアスターゼを含みます。

ジアスターゼは胃もたれや胸やけを解消してくれます。葉にも含まれる辛み成分のグルコシアネートは発がん性物質を解毒する作用があるといわれています。

②葉 → 緑黄色野菜。カロテン、ビタミンC、鉄、カルシウム、カリウム、食物繊維などを含んでおり、他の葉物と同じく炒め物、煮物、和え物として食べることができます。

★根の部分は火が通りやすく味がしみやすい一方、煮くずれしやすいため加熱は短時間を心がけましょう。



当院のホームページにも、バックナンバーを掲載しています。  
「新潟市民病院 ふれあい広場」と検索してみてください！

発行元：新潟市民病院 広報委員会  
新潟市中央区鐘木463番地7 Tel. 025-281-5151

## 編集後記

最近一気に寒くなってきましたね。紅葉がきれいな季節になりました。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、皆さまも暖かくしてお過ごしください。

(C)